

ジュニアEXPO中学生ポスター・項目イメージ

A. タイトル名 (20文字まで)

在宅患者さんの情報をいつでもどこでも

B. コンセプト (50文字まで)

在宅患者さんの全情報をいつでもどこでもタブレット端末で時系列や各種分類で把握できるように

C. 内容

問1 「あなたは、どんな社会（または世界）を望みますか？」

ここには、あなたが、どんな理想の状態や問題の解決をのぞむかをえがきます。

商品・サービス・仕組み・システムなどのアイデアを含み、目的・理想が実現した姿や状態です。

項目例は、①望ましい状態やもの・仕組み（理想の姿） ②それで何ができるようになるのか（機能）

③それで誰にとって何がよいのか（受益者と役立ち） ④どんなものでできているかと値段や費用？（構成要素と価格・費用）

①望ましいのは、どんな状態？ どんなものや仕組みがあるとよい？

在宅患者さんの全情報をいつでもどこでもタブレット端末で時系列や各種分類で把握できる仕組み

それにより、様々な関係者が医療の質改善、健康改善、利便性向上、リスク低減、工数削減のメリットを得る。

②その状態やもので何ができる、できるの？



③そういう状態やものは誰にとって何がよいの？ よいことになるの？

患者さんにとって

安心。正確で迅速な対応で健康に役立つ

地域にとって

安心。患者の状態を共有することで、対応に先手が取れる。

お医者さんにとって

安心。適切な情報確認で、現場、遠隔地で、正しい判断と医療行為ができるよう。休日夜間対応も改善。紙資料紛失のリスク減。

看護師さん・事務方にとって

安心。準備の手間は増えるが、情報検索が容易は減少。休日夜間対応が改善

④実現には何が必要で、どのくらいの価格や費用、負担で？

情報の収集や参照のためのシステム構築

情報収集・管理につかうPC、スキャナー、情報参照のためのタブレット端末

情報収集・管理のための工数

問2 「それはなぜですか？」

ここでは、①を望むさまざまな理由をえがきます。①現状に問題があるから、②本来はこんなことが理想だから、③今までやってきて得意だからとかできそうだからなど。項目例は、①いまどんな状態？（現状） ②どんな問題がありそう？（問題） ③どうしてそういう状態なの？（原因） ④ほんとうはどんな状態がよさそう？（理想）

①いまどんな状態？ ②どんな問題がありそう？

在宅の患者さんのところに、お医者さん、看護師さん、介護の方、その他さまざまな方がこられても、患者さんの状況を網羅的に確認することができない。

③どうしてそういう状態なの？

二次情報やヒアリングで調べた結果は、以下のとおり。

情報が医療・介護など分野ごとにバラバラにある。

情報が、記録にのこっていなかったり、あっても紙に記録されている（図1）。

④ほんとうはどんな状態がよさそう？

いつでもどんなときでも患者さんのデータが、そのときその場所でわかりやすく見れて、いろいろな目的のために活用できたらよい



図1. 患者情報の媒体別記録量
(参考文献・情報1より)

問3 「そんな社会（または世界）のために、あなたは何をしたいですか？」

ここでは、①の理想な状態を、これからどうやって実現にまでもっていきたいかについてでえがきます。

項目例は、①理想な状態までどうすればたどりつく？（実現プロセス） ②実現のための乗り越えるべき困難は？（実現のための課題）

①理想の状態にまでどうすればたどりつくか？

関係者へのヒアリング等調査

関係者・規制当局との調整

仕組み・システムの要件定義と開発、テスト

②実現のための乗り越えるべき難しさは？

個人情報管理についての課題のクリア

関係者・規制当局からの承認

参考文献・情報

①参考文献・ウェブ等情報

1. 厚生労働省「*****」 2025年6月4日

2. *****「*****」

http://***** (アクセス日：2025年6月4日)

②ヒアリング・調査先

1. 在宅医療医師 *** 氏 2025年6月4日 10時～12時 場所：大阪府大阪市北区**

2. 介護事業者 *** 氏 2025年6月1日 13時～15時 場所：オンライン